

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童中央校		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様、保護者様一人ひとりに寄り添ったオーダーメイド療育の提供	利用者様や保護者様のご要望をもとに、活動内容を一から考え、オーダーメイド療育を提供しています。個別療育のため、一人一人に合わせた臨機応変・細かな対応ができます。	今後も、活動内容が単調にならないように心がけていきます。保護者様へのフィードバックや関係機関との連携を通して、細やかな活動内容の調整を行っていきます。
2	保護者様の相談しやすい環境づくり	活動後に、フィードバックの時間を必ず設けています。最近のご家庭や園などでのお子さんの様子について、お聞きしたり、お話ししたりすることを意識して行っています。話しやすい雰囲気作りを大切にしています。	継続して、保護者様とお話する時間を大切にしていきたいです。家族支援だけではなく、関係機関との情報共有も大切にしていきたいです。
3	個別療育と集団療育を組み合わせたハイブリット療育の提供	本校で行っている小集団活動は、前半を個別療育、後半を小集団活動にしています。個別では、個に合わせた活動内容の構築、集団では、他者との関わりを意識できるような活動を取り入れています。小集団活動でも、複数の指導員が関わるように、しっかりと体制を整えています。	来年度も小集団活動では個別と集団を組み合わせ、ハイブリット療育を行っていきます。また、不定期で親子小集団療育イベントの開催も継続していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育の中では、同年代の子ども同士の関わりを学ぶことが難しいこと	通常の個別療育では、同じ時間に複数名未就学児のお子さんがいないことが多いため、どうしても同年代と関わる機会が少なくなってしまう。	指導員を固定化せず、複数の指導員と関わることで、コミュニケーションの幅が広がるようにしています。また、不定期で行っている親子小集団療育イベントの継続を行っていきます。
2	利用者の送迎に行っていないこと	本校舎では、送迎を行っていません。そのため、保護者様に送迎のご協力をいただいております。	出来る限り、送迎のご都合に合わせて調整させていただきますが、難しい場合もありますので、ご了承いただければと思います。
3	校舎へ行くまでの階段が、雨や雪などで塗れると滑る危険性があること(校舎はビルの2階)	天気の悪い日には利用者様や保護者様に、ゆっくり上り下りしてほしいと声掛けを行ってきました。除雪もまめに行っていました。	12月から、改装工事が入り、通路は滑りにくい素材になり、床や階段にはマットが設置されたため、以前より安心して上り下りできるようになりました。保護者様からも、これなら安心とお声を頂いています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童中央校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 20

回収数 20/20

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	4				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2		3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			1		
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19			1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			3		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19			1		
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	12	4		4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	5		2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	20					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19			1	こどものことでいつも相談に乗っていた だき大変ありがたいです。	これからもご家族様に寄り添ったサポ ートができるようにしていきます。何かあ りましたらいつでもご相談ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2		12		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18			2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	3		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20				明日はクラゼミの日！今日はクラゼミの日！と毎回利用日を楽しみにしています。	ありがとうございます。これからも楽しい活動を提供できるように支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童中央校		公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		おもちゃや教材は使いやすいように日頃から整理整頓している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		パーティションを使用し、個室に近い空間にしたり、相談室を使用できるように配慮している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		ミーティングに参加し、目標などを共有している。職場内で情報の共有や振り返りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見を把握する機会を設けている。改善が必要なことはできる限り早急に改善できるように努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		打ち合わせ時など、意見を把握する機会を設けている。改善が必要なことはできる限り早急に改善できるように努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は行っていないが、内部監査を定期的に行っている。	内部監査を定期的に行うことで、必要な点については業務改善していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者それぞれに合わせて、固定化すべきプログラムとそうではないプログラムを考えている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に、打ち合わせを行えないことがある。	前日や空いている時間に打ち合わせを行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に、打ち合わせを行えないことが多い。	翌日の朝に行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者児発管が参画することが多い。	可能な範囲で主に関わっている指導員も一緒に参画している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		直接的な連携は少ないが、相談支援事業所や保護者様を通して、支援の内容にや関わり方の助言等の共有を行うことができています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		直接的な連携は少ないが、保護者様を通して、支援の内容にや関わり方の助言等の共有を行うことができています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会は行っていないが、不定期で親子小集団を行っている。その際、保護者同士の交流の場にもなっている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回通信の発行、Instagramやブログを活用した情報発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については保管を徹底している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域へ向けてイベントを行う際は、幼児家庭向けにチラシを配布するなどしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、訓練を行っているほか、契約時に重要事項説明書で説明をしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供は行っていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、必要な研修や訓練を行っている。それぞれ、報告書を作成し、管理している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に重要事項説明書で説明をしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		再発防止のために、事業所内だけでなく、エリア内で情報共有している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員全員、社内で行っている研修に参加している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		社内で研修を行っているほか、契約時に重要事項説明書で説明をしたり、個別支援計画に掲載したりしている。最大限、身体拘束以外の方向で安全を確保できるように努めている。		